



医療法人社団 **雪嶺会**
SETSUREIKAI

お一人おひとりに寄り添った診療を

ご挨拶 理事長/院長 依田 奈緒美 Naomi Yoda

25年間岡田整形外科として父が開業していた場所にて、新たに『東京リハビリ整形外科クリニックおおた』を開業し生まれ育った蒲田でリハビリ医師として、少しでも皆様のお役にできるように、患者様お一人おひとりに寄り添った診療を心がけて行きたいと思っております。何でも気軽に相談に来ていただける敷居の低いクリニックであると同時に、より高い医療サービスの提供ができるクリニックであるようスタッフ一同努力してまいります。



東京リハビリ整形外科クリニック おおた

	月	火	水	木	金	土
AM	○	○	○		○	○
PM	○	○	○		○	

診察時間 AM9:00~12:00 PM14:00~18:00

〒144-0052 東京都大田区蒲田 1-9-11 1F
TEL:03-6424-7602 FAX:03-6424-7609

- JR 京浜東北線・東急多摩川池上線「蒲田駅」東口より徒歩 10分
- 京浜急行「梅屋敷駅」より徒歩 11分
- 京浜急行「京急蒲田駅」より徒歩 12分



専門医による診察

通常の診察に加えて下記の診察を行っております。



小児リハビリテーションに関する診察
昭和医科大学病院 准教授 真野 英寿
日本リハビリテーション医学会指導医/専門医

※小児診療に関しては予約制で行っております。

高次脳機能障害に関する診察

昭和医科大学病院 教授・診療科長 川手 信行
日本リハビリテーション医学会指導医/専門医

※上記診察に関してはお電話にてご予約ください。

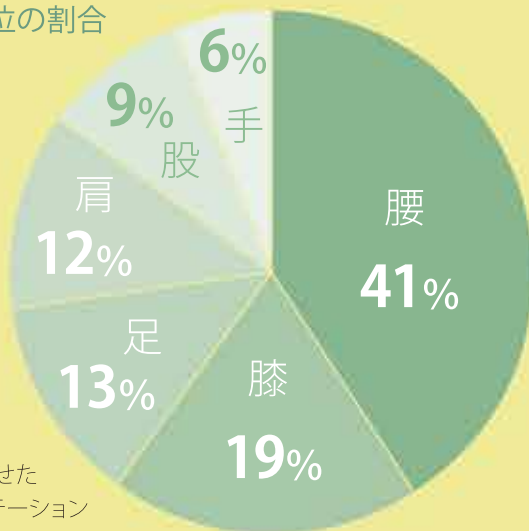


外来リハビリテーション

運動器疾患・脳血管疾患リハビリテーション

在宅生活が有意義に過ごせ、社会復帰ができるように目標を決め、お一人おひとりの身体状態に合わせてマンツーマンでのリハビリテーションを提供します。

整形疾患部位の割合



お一人お一人
身体状況に合わせた
個別のリハビリテーション

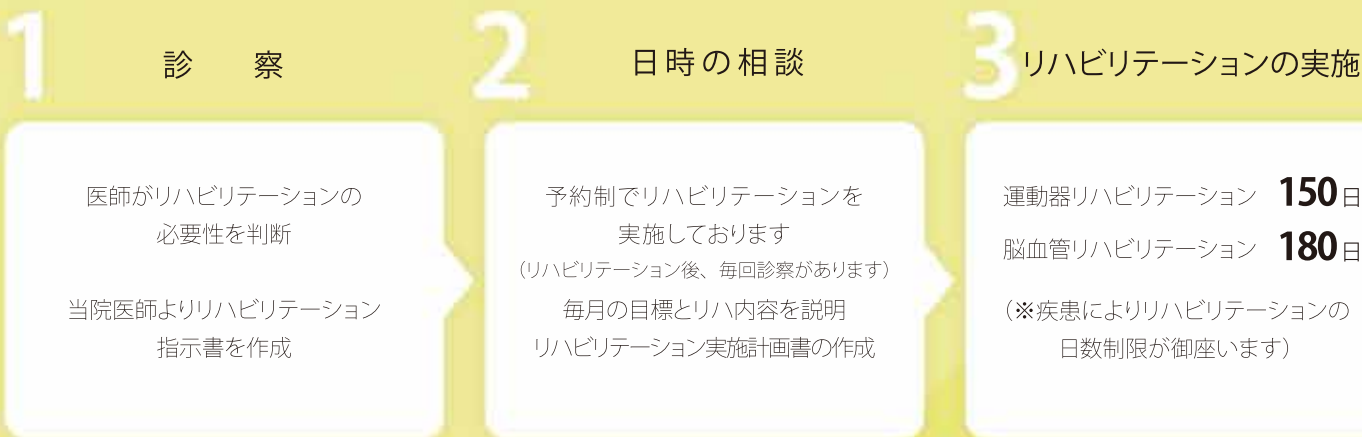


特色・疾患層

整形疾患 脳血管疾患 神経難病 発達障害等

脊柱管狭窄症、肩関節周囲炎、変形性関節症、脊椎術後パーキンソン病（症候群）、脳梗塞後後遺症 ...etc.

外来リハビリテーションご利用の流れ



レッドコードセラピーとは



天井から吊るされた赤いロープを利用することで、体への負担を少なくして、神経や筋肉の働きを改善させ柔軟性向上を目指します。
フレームを利用して下ろした赤いロープで身体を吊るし、自分の体重を利用した治療手技としてリハビリテーションの現場で用いられています。

インソール療法（足底板）※ 自費負担の可能性もございます。



タコ、ウオノメ、外反母趾、扁平足、靴による膝の痛み、靴による股関節の痛み、アーチ障害、脚長差などがある場合に医師の診察により靴・インソール（中敷き）の適用が必要であると判断された方は靴外来の専門技術者が対応いたします。（足底部の圧力のかかり具合や症状によりレントゲン撮影を行い骨の状態を診る場合がございます。）

通所リハビリテーション

ご利用様の生活課題の解決に向け、療法士の的確なアセスメントと、楽しく行えるアクティビティを提供いたします。

そして、通いの場や地域でのご利用者様それぞれの生活に繋げていけるようスタッフ一同で取り組んでまいります。

AMコース

10:00 ~ 12:00

(2h以上3h未満)定員 15名

DAYコース

10:00 ~ 15:00

(5h以上6h未満)定員 5名
※水曜日のみ,AM,PMは10名定員

PMコース

14:00 ~ 17:00

(3h以上4h未満)定員 15名

プログラム例 AMコース

9:30頃	送迎車にてお迎え
10:00	通所リハ着
10:00～	バイタルチェック
10:10～	全体準備体操 R9ステッキ
10:40～	Aチーム 小集団体操 (5名程度) Bチーム マシントレーニング (ニューステップ/エルゴメーター/レッグプレス)
11:20～	A・Bチーム交代
12:00～	整理体操後 解散 送迎

プログラム例 PMコース

13:30頃	送迎車にてお迎え
14:00	通所リハ着
14:00～	バイタルチェック
14:10～	全体準備体操 R9ステッキ
15:00～	Aチーム 小集団体操 (5名程度) Bチーム マシントレーニング (ニューステップ/エルゴメーター/レッグプレス アクティビティ、作業、脳トレ他)
16:00～	A・Bチーム交代
17:00～	整理体操後 解散 送迎

デジタルミラー



※写真はイメージです。

自分の姿勢や動作をご自身で確認することで、より効果的なリハビリテーションを可能にします。

デジタルミラーを用いて初回、3ヶ月に1回評価を行い、ご自身の身体状況を客観的に評価できます。また、重心動揺計を用いてバランス訓練などを行えます。

R9ステッキ

15度のグリップ角度：ポール使用時でも自然なウォーキングスタイルを崩さないようにシャフトに15度の曲げ加工を施しています。この曲げ加工により、柔らかな使用感を実現し、手首の負担を軽減します。

進行方向にもうけた9cm前方へ(15度)の屈曲：一般的なステッキに比べ、体の前方に支持基底面が広がることで、立位姿勢・歩行姿勢の安定につながります。また、ポール先端が自然に身長に応じた標準的な歩幅の位置に着地するため、歩幅の目安にもなります。



送迎エリア

クリニックより
約2.5km範囲内

【蒲田地域】蒲田 / 蒲田本町 / 新蒲田 / 西蒲田 / 東蒲田 / 南蒲田 / 多摩川 / 仲六郷 / 西六郷 / 南六郷 / 東六郷 / 東矢口
【大森地域】大森北 / 大森西 / 南馬込 / 西馬込 / 中央 / 山王
【糞谷地域】大森東 / 大森中 / 大森南 / 北糞谷 / 西糞谷 / 東糞谷 / 萩中
【調布地域】池上 / 千鳥 / 仲池上 / 久が原

訪問リハビリテーション

訪問エリア クリニックから 2.5km 圏内

在宅療養中の方のお住まいに訪問し、実際の生活課題に対し、専門的な視点から訓練・環境調整・生活指導・家族への介助方法指導をすることで、住み慣れた環境で安心して生活できるようご利用者様の思いを尊重したリハビリテーションを行います。

- 住宅環境に適した機能評価・提案・訓練
- 日常生活での自立支援と介護のアドバイス
- ご自宅でできるリハビリテーションの提案
- 趣味や社会活動参加への支援 など

介護保険・医療保険のご利用が可能

交通費を別途ご請求することはありません。



介護認定を受けていらっしゃる方は、担当のケアマネジャー様にご相談ください。
また、通所リハビリテーションと併用することでも、よりリハビリテーション効果を高めることができます。

入社後の研修・教育体制・学術活動について



■ 研修

- ・新入職研修
- ・現任者研修（年1回）
- ・フォローアップ研修（年1回）
- ・定例研修会（ケーススタディ・外部講師による研修・内部研修）

研修充実で新卒の方や若手の方もしっかりサポートします。

■ 勉強会

- ・1-2ヶ月に一度、訪問リハビリや外来リハビリでの症例検討会を行なっています。
- ・小児の担当者の集まるミーティングでは随時情報交換や相談を積極的に行っています。

■ 学会活動

以下の学会に積極的に参加しています。

また、院内での勉強会・発表予演会等を通して、若手職員が学会発表する際のサポート・アドバイスを行っています。

- ・日本リハビリテーション医学会
- ・日本小児理学療法学会
- ・日本生活期リハビリテーション医学会
- ・日本小児診療多職種学会
- ・社内学術集会 他

小児リハビリテーション

先天性の障害があるお子様や、後天性の障害があるお子様のリハビリテーションを地域で積極的に提供しています。

医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの専門職が、お子様やご家族と地域で一緒に考え、適切な医療ケアと発達支援をしていきます。

- 発達が気になるお子様（運動の遅れ・手が不器用・ことばの遅れなど）
- 発達障害・知的障害のお子様
- 脳性麻痺・神経難病・重症心身障害児のお子様
- 医療的ケアが必要なお子様



昭和医科大学病院 准教授 真野 英寿
日本リハビリテーション医学会指導医 / 専門医
東京都立北療育医療センター城南分園 整形外科

事前予約制

火曜日 PM (月二回)

金曜日 AM (月二回)/PM (毎週)

子どものリハビリテーション PT/OT/ST

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれの専門性を活かしてお子様の成長を促します。専門職が個別に関わることでお子様の苦手な部分をサポートさせて頂きます。からだ全体を使った運動、指先を使った作業、言葉の練習など、今後お子様が社会に出て行く為の基盤作りをご一緒させて頂ければと思います。



言語聴覚士による訓練

言語聴覚士はお子様の「ことば」や「コミュニケーション」、「発語」の発達を専門的にサポートします。発音や語彙の遅れ会話のやり取りの難しさなど、それぞれのお子様の特性に合わせて個別に関わります。遊びや日常の関わりを通して、無理なく力を伸ばしながら、周囲とのやり取りや社会参加の基盤づくりを支援していきます。

インソール療法

子どもの外反偏平足は、立位時に踵骨のねじれ(踵骨外反)を伴うことがあります。足部の形状、踵骨に合わせたインソールが必要です。ダウン症候群のような染色体異常のお子様は、低緊張であることが知られています。インソールを作製して踵骨を正しい位置にし、しっかりとした運動をすることが大切です。当院ではインソール療法とリハビリテーションを合わせて提供しています。



ボツクス療法

脳性麻痺児のボツリヌス治療は「障害の治療」になる可能性を持っていると考えています。障害児の身体能力を引き出すために、ボツリヌス治療だけでは十分ではありません。ボツリヌス治療後にやわらかくなった筋肉をしっかりと使う為のリハビリテーションが必要です。当院では、ボツリヌス治療とリハビリテーションを合わせて提供しています。

※お子様の訪問リハビリテーションも提供していますので、診察時にご相談下さい。

小児地域リハビリテーション研究会



先天性、後天性に関わらず、障害を持ったお子様が地域で生活していくためには、リハビリテーションの力は必要不可欠です。ですが、地域に十分なサービスが整っていないというのが現状ではないでしょうか。少しでも多くの方にリハビリテーションを届けたいという想いから、研究会を立ち上げました。



※研究会では小児リハの経験のない方、興味のある方の参加も歓迎しています。



Linie

リニエ ハイム おおた

有料老人ホーム

TEL 03-3737-4828

〒144-0052 東京都大田区蒲田 1-9-11 <http://linie-group.jp/office/linieheimota/>

施設概要

地域密着型施設ですので地域に根ざしたアットホームな施設です。

- 施設タイプ／混合型特定施設入居者生活介護 有料老人ホーム
- 介護事業者番号：1371113380
- ご入居対象者／要介護者
- 構造／鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建
- 権利形態／賃貸(契約30年)
- 開設年月日／平成22年4月
- 居住の権利形態／利用権方式
- 利用料の支払方式／月額方式
- 総戸数／建物2～3階部分14戸 全室個室(定員16名)
- 運営会社 株式会社リニエ Arts



地域密着

医療連携

リハビリテーション

ケア

関連会社

 三輪書店 株式会社リニエR 株式会社リニエHeart 株式会社リニエL



医療法人社団
雪嶺会
SETSUREIKAI